

虎子山

2月26日(日) 天候 くもり・小雪

登り2時間半 下り1時間半

寅年の年に計画した虎子山であったが、伸びに伸びて辰年に登ることになった。予報は良くなかったが天気回復が期待できそうであったので行くことにした。国見岳スキー場の第3ペアリフトを1本乗り、そこから急なやせ尾根をシールとスノーシューで登った。

しかし、途中の急斜面でシールを諦める。クートを付けても無理な状態。疲れるので坪足に換えるが、表面のクラストが割れて潜ってしまい、結構しんどい登りとなる。少し傾斜が緩んだところから再びシールで登る。

稜線に出るとブッシュもなくなり、残されたトレース跡を見つける。天気はあまり良くないが、途中、金糞岳、貝月山、伊吹山などを望めた。稜線上は冬型のため結構寒い。下りは急峻なやせ尾根を、眼下にスキー場を望みながら慎重に滑り降りた。



写真では傾斜が分かりづらいが、最後まで急峻な尾根が続く

